



桐朋学園音楽部門

TOHO GAKUEN SCHOOL OF MUSIC

部門報 2025 Vol.58

ご挨拶

残暑の候、皆様、お変わりなくお過ごしでしょうか。

本年度も多くの新入生をお迎えし、皆様のご支援のもと、前期を無事に終えることができました。音楽の道を志し、本学に集いました学生一人ひとりの期待と決意に真摯に向き合い、教職員一同、引き続き教育に尽力してまいる所存でございます。

さて、人口減少やテクノロジーの進化により、音楽を取り巻く環境も急速に変化の時を迎えておりますが、どのような時代にあっても音楽が人々の心を動かし、社会に深く根ざした文化としてあり続けることに変わりはありません。

だからこそ、私達はこの変化にも敏感に適応しながら、新たな音楽文化を創造していく責任があります。

本学では 2025 年度より新たな教育の取り組みをスタートさせました。

まずひとつは桐朋の伝統であるアンサンブル教育を強化すべく、大学院に室内楽コースを開設。日本の室内楽演奏の進化はめざましく、本学卒業生らの活躍は周知のとおりでございます。長期にわたる学びの場が必要とされる弦楽四重奏をはじめ、未来ある室内楽団が更なる高みを目指す場として、充実させていきます。

また、ミュージコロジーと Music and Sound Design への取り組みは、本学がこれまでの教育を大切にしながらも、社会における音楽のあり方と、第一線で向き合い続けようとする姿勢の表れです。



桐朋学園大学院大学学長
桐朋学園大学学長
辰巳 明子

時代が変わっても、音楽の本質を追究する姿勢を変えずに、私達はこれからも学びを深めていきます。

桐朋学園は音楽への深い理解を養うと共に、音楽を取り巻く社会を広く学ぶ場として、未来の音楽文化を創造する音楽人を輩出し続けます。

同窓会の皆様、関係者の皆様におかれましては、桐朋学園をこれからもお支えいただけますように、改めて心よりお願い申し上げます。

役職者挨拶



後列左より 学生部長 合田香、高校部長 森山智宏、図書館長 安田和信、音楽教室部長 新井博江
前列左より 東京・大学院研究科長 清水和音、学部長 沼野雄司、学長 辰巳明子、理事 姫野雅子、教務部長 杵鞭広美

音楽の本質を

東京・大学院研究科長 清水和音

この春も、研究科にまた新しい若い仲間たちを迎えることができました。

なににせよ研究という分野は本来、それぞれの心のために、人間が人間らしくあるために必要なもの。本来、就職や仕事といった事柄とは関係のないものです。とくに私たちが研究するのは、音楽に関わるあらゆることなのですから。

音楽はなんのためにあるのか？ 音楽はそもそも競争ではないし、むしろ満ち足りた調和を探し求めていくものです。才能を仕事にするのはまた別の能力であって、大学や大学院はそれを教える場ではありません。ここは、本質に還るための場所であるはずです。

音楽という、私たち人間にとってもっとも素晴らしいものの近くにいることを改めて自覚し、より深く、心のために、そしてそれをまた人に伝えるために、勉強に励んでいきましょう。

ここには同世代の優秀な仲間がたくさんいますし、私たち教員も、桐朋の卒業生たちもまた、同じ Music Dweller——音楽の世界の住人としてこの社会で生きているのです。

才能ある若者と出会えば、自分の若い頃や初心を思い出したりするものです。教育は教育者にとっても、そうした原点や純粋さを見つめ直す機会ともなります。大学院は、学生と教員がともに研究をする場ですから、学生のひとりひとりが、教員にとっても刺激的な存在でいてほしいと思います。

この研究科はそのための場所でありたいと思います。ともによく学んでいきましょう、素晴らしい芸術作品とのつきあいかたを学び、自分自身をより深く、音楽的にみつめて——。

丁寧かつ迅速な対応で環境を整備

学生部長 合田香

2025 年 4 月より三度目の学生部長の任にあたることになりました。学生部長として保安委員長、キャリア支援センター長も兼任しています。

桐朋学園の音楽部門においては、音楽教室を含めると就学前の子供たちから、高校、大学、大学院と幅広い年齢層の学生生徒が仙川・調布の校舎で学んでいます。

私たちの生活する現在において社会環境や人々の価値観の変化は引き続き大きく多様になっていて、それぞれの事象に対応すべき事柄も多様で数多くあります。

また、突然に起こる自然災害なども学校における安全の確保や、学生生徒・ご家族への大きな影響もあり、迅速かつ丁寧な対応が必要になっています。

これらの事柄に学長を始め役職者、全教職員と連携をして対処し、多くの人々がそれぞれの個性や違いを尊重し、協同して過ごしやすい学習環境・生活環境を維持できるよう、安心安全な学校環境の整備に努めてまいります。

世界に誇る音楽教育機関として

教務部長 杵鞭広美

今春から、カリキュラムのマネジメント、授業運営、試験等、学生生徒の修学面のサポートを担当いたします。学生生徒がよりよい学校生活を送るための大事な役割を担うことは、これまでと変わりません。

教学では、学生生徒を対象に学校生活に関するアンケートを実施しています。授業の空き時間や放課後に練習室が確保できないこと、学内のインターネット環境など、校内の設備面における改善を求める声が毎年届きます。学期終了後の授業アンケートも定期的に行われていますが、このアンケートによる回答は、授業担当者に確実に届けられるため、学生生徒らから教師へむけられた意見や要望は、真摯に受けとめて、改善をはかることが求められます。

ときには、学校運営あるいは教員の側からみて、改善が厳しいケースもあります。しかしながら、若い世代との対話を重ねて、多くの時間をかけてでも歩みよることが大切で、私ども教職員がアップデートをしていかなければならないのだと思います。

就労者の意識や権利を企業側が受け入れる体制が求められる近年の動きと同じように、「学校」という組織、教育機関としてのあり方が問われています。

今秋は、調布キャンパスに音響スタジオが完成する予定です。桐朋生が学ぶ環境は、これから多様になるでしょう。世界に誇る音楽教育機関として、桐朋の伝統を継承するとともに、新しい世代の「人を育てる」ため、事務局スタッフおよび他の教員らと協働していく所存です。

今こそ「言葉の力」を

高校部長 森山智宏

今年度より高校部長に就任いたしました、森山智宏です。私は 2004 年から 16 年間、教諭として高校教育の現場に携わってまいりました。この度、5 年ぶりに高校に携わることとなり、大きな喜びとともに、重責を感じる日々を送っております。

私が高校部長として一番大切にしたいものは、「言葉」です。私たちは教育の場で、多くの言葉を発しています。しかし現代では、SNS の発達などスピード感が求められる中で、言葉が軽んじられているような気がします。本来、音楽の形成は、とても時間のかかるものです。このような時代だからこそ、時間をかけて丁寧に言葉を重ね、音楽を作っていくことが求められているのではないのでしょうか。

これからは、今まで以上に「言葉」を見つめ、教育に邁進していきたいと思います。厳しい世の中でも、道を切り拓いていくのは、言葉の力です。その願いが少しでも高校生に伝われば、こんなに嬉しいことはありません。

3 年間、どうぞよろしくお願い申し上げます。

「革新」を支える金庫番として

理事 姫野雅子

桐朋のイメージは「舞台へ一番近い場所」。これはある方の言葉で、とても印象的に残っています。ここでの「舞台」は、一人一人が輝く場所という意味でもあり、教育の質と集う学生生徒の意識の高さは、この言葉を実現するに相応しいものではないでしょうか。先人たちが培ってきた教育を、未来の桐朋生にバトンを渡す使命を担ったと認識しています。

すでに「伝統と革新」という理念にそって教育を展開してきましたが、少子化という社会構造、音楽を取り巻く環境、AI 技術の急進的な進歩など、さまざまな要因が複雑に絡み合う時代において、より大胆な「革新」も必要でしょう。

昨年度、音楽学専攻はクラシック以外の音楽分野にも目を向ける「ミュージコロジー」へ改変しました。また、舞台や映像との共同制作を通じて、さまざまなサウンドを目的に従って調整する「Music and sound design (MSD)」を大学・大学院の作曲専攻に開設しました。それに伴い専門的な録音を可能とするスタジオも整備します。このような展開は、今まで培ってきた「伝統」を活かしつつ、他校とは異なる桐朋ならではの特徴を持つべく工夫されています。そして、この試みを支えるためにはしっかりと資金計画が必須でしょう。

大切なこのような時期に財務理事として金庫番を任されることとなりました。大変でありながらも心躍る時を過ごせるよう努力します。ホームページをリニューアルした現在、我々の試みを的確に迅速に発信していきます。どうぞよろしくお願いいたします。

変革、という DNA への帰還

学部長 沼野雄司

知人の音楽大学関係者と話をすると、必ずといってよいほど「こちらはなかなか大変だ。そちらはどう？」という話になります。就学人口の減少にくわえて、音大離れの傾向も指摘されており、どの大学も楽観的な見通しは持てない状況にあります。しかし、危機は変革の最良の機会です。人口減少はともかくとして、「音大離れ」が起きているとすれば、そこには必ず理由があるはずです。音楽部門においてはこの数年、自らを客観的にふりかえり、本当にわれわれが 21 世紀も四半世紀を過ぎた「現在」に対応できているのかどうかについて、さまざまな角度から検証し、策を練ってきました。

いくつかの試みは既に始まっていますが、今後、この変革はさらに大きな規模のものとなってゆくでしょう。といって、われわれはチャラチャラと「時代に合わせる」気など毛頭ありません。建学以来の柱をしっかりと保持しながら、より幅広い音楽文化の創造を目指すこと——いわば時代に合わせるのではなく、時代を越えること——が本学の目標です。

考えてみれば、桐朋学園音楽部門は、官学はもとより他の私大よりもはるかに遅れた時期に出発し、しかしながら、ほとんど革命のようにして音楽界を席卷した歴史を持っています。いわば、変革はわれわれの DNA の中核にあります。これからの音楽部門は、この本質に還りながら、新しい変革を目指すことになるでしょう。

新任挨拶

レガート～原点に立ちかえる

音楽教室部長 新井博江

このたび、音楽教室部長を拝命いたしました。伝統ある音楽教室の新たな一歩に関わる責任の重さを感じつつ、心新たに取り組んでまいります。

1945年創成時の「日本は戦争によって、ほとんどすべてを失った。残ったのは何だろう？文化と芸術です。日本を立ち上げらせる原動力は芸術の教育しかない。だから、これから子どものための音楽教育をやると思う」。この吉田秀和先生のお言葉をかみしめ、創成に関わった先生方の志、熱い想いを忘れずに、全国の音楽教室と桐朋学園音楽部門が常に「レガート」であり続けるよう、一体感のある教育環境を築いてまいります。

また、世界の音楽界と子供たちがレガートされ、伝統ある人間形成の資（たから）育成プロセスに全力で向き合うことが、我々教員の使命と考えております。

今後とも温かいご支援とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

富山キャンパスの魅力

富山・大学院大学研究科長 桐朋オーケストラ・アカデミー所長 銅銀久弥

今年、富山キャンパスは30周年という記念の年を迎えることとなりました。これまでの皆様のご尽力に深く感謝申し上げますとともに、今後とも変わらぬご支援とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

大学院大学では学生がソリストとしてオーケストラと共演する『コンチェルト実習』を年2回行っており、春期は2年次生全員、秋期は希望者対象のオーディション合格者がソリストとして公開演奏します。また、室内楽の『重奏研究』では、演奏機会が多いデュオソナタやピアノトリオなどを中心に、レッスンと公開コンサートを行います。川久保賜紀教授や私が、学生と一緒に演奏する曲もあります。

学生達からは「この学校に来て本当に良かった。富山でもっと勉強したい」という声が多く上がっています。

オーケストラ・アカデミーは、プロオーケストラのオーディション合格者を多数輩出しており、先生達の熱意も益々上がってきています。今年度は指揮の尾高忠明先生、コンサートマスターにバイエルン放送響のA・バラコフスキー氏も招聘しています。オーバードホールでの定期演奏会・特別演奏会は、毎回1000人から1400人のお客様に聴いていただいております。

富山キャンパスには充分な数の広い練習室があるので、充実した練習が出来るという大きな魅力があります。そして窓からは北アルプスが眺望でき、心をリフレッシュしてくれます。

大学生の皆さん、学校説明会と体験レッスンに是非ご参加ください！

音楽図書の充実

図書館長 安田和信

昨年度末、本学附属図書館はシステムのリプレースを実施しました。ホームページおよびOPACなどをより利用しやすくするためです。近年では研究のための各種のデータベースを整え、SNSなどを通じて情報の発信にも努めていますが、やはり核となるのは音楽図書館としては日本有数を誇る蔵書でしょう。新しいOPACを是非ともご活用ください。

昨今の日本の教育機関の環境は厳しさを増していますが、私たちの学園は音楽教室から大学院までを擁し、多様な世代の学生生徒が集い、音楽の道を真剣に極めようとしています。それは開学以来変わらない姿でしょう。図書館はそれを維持し、さらなる発展を促すために不可欠な役割を担っていると自負しています。

近年では作曲専攻に「編作芸術」のコースが新設され、また本年度からは音楽学専攻をミュージコロジー専攻に変更するなど、本学でも時代の変化に呼应して、伝統的な「音楽院」にはなかった新たな方向性を打ち出しています。学園の知のインフラたる図書館もそれに合わせ、選書の方針もより幅広いニーズに応えられるようさらに変えて行くべきでしょう。とりわけ財政的な困難が立ちはだかってくるとは思いますが、皆様のご協力も得て、図書館の充実に努めてまいりたいと思います。何卒よろしくお願いいたします。



作曲／准教授

余田有希子

このたび、作曲専攻の専任教員として着任いたしました。私は東京藝術大学の音楽環境創造科の一期生として音楽音響制作を学び、母校での指導を経て、神戸大学にて教育・研究活動に携わってまいりました。これまで多様な分野が交差する環境に身を置いてきたからこそ、音楽に深く向き合うこの場に加えていただけることを、大変光栄に思うと同時に、身の引き締まる思いです。まだまだ学ぶべきことも多いですが、学生の皆さんと共に成長しながら、創造の可能性を広げていければと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



学生相談室／カウンセラー

増吉 理恵

今年度より、学生相談室の専任カウンセラーとして勤めさせていただくこととなりました、公認心理師・臨床心理士の増吉と申します。これまで、医療機関や他大学の学生相談室において心理的支援・相談業務に携わってきました。

音楽と真摯に向き合いながら青年期の大切な今を生きる学生・生徒の皆さんの、人間的成長・精神的自立の過程を見守り、肯定的な自己形成と学校生活への適応を支え、皆さんが自分らしく安心して充実した学校生活を送っていけるよう、カウンセラーの専門性を活かしてサポートしてまいりたいと存じます。

カウンセラーの立場から、学生支援を通して本学の学校教育に貢献できますよう努めてまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。



作曲・ソルフェージュ／准教授

加藤真一郎

2025年4月より作曲科専任教員となります加藤真一郎です。小学1年生より子供のための音楽教室で学び、高校・大学・研究科、卒業後は非常勤講師としてずっと桐朋とともに音楽を育んできました。ドイツでピアノデュオを専門的に学んだことを生かし、また桐朋の特色であるソルフェージュ・理論ピアノを兼任するなかで、作曲科生はもちろん演奏家、総合的な音楽家の育成に尽力いたします。何よりも自由かつ真面目、世界に開かれたこの大切な校風を次の世代に伝えていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



2024 年度音楽部門決算の概要

【表1】資金収支決算対比表

2024年度の資金収入は、学生生徒等納付金収入が大学生数等の減少により2,499,298千円となりましたが、補助金収入では「私立高等学校等授業料軽減助成金」の所得制限撤廃により交付金が増額し、417,930千円の収入となりました。

その他の収入では寄付金収入が64,130千円と前年度より26,371千円増加した他、私大退職金財団交付金収入も42,464千円に増加しましたが、前述の学生生徒等納付金収入が大きく影響し合計3,130,585千円、対前年度比△83,830千円となりました。

一方資金支出では定年等退職者が4名増え退職金支出が増加し、人件費支出全体では1,927,237千円となった他、ホームページリニューアル関係費用のため管理経費支出でも139,690千円に支出が増加しました。

教育研究経費支出やその他の支出に含まれる施設関係支出、設備関係支出では2023年度単年に発生した費用差が要因となり支出額は抑えられましたが、全体で3,263,577千円となり、対前年度比で41,708千円増加しました。結果、次年度繰越支払資金は対前年度比△132,992千円の1,473,401千円となりました。

【表2】事業活動収支決算対比表

2024年度の事業活動収支においては現物寄付が大きく増加し51,131千円となりましたが、経常収支差額が△332,325千円とこの支出超過を回収するには至らず、基本金組入前当年度収支差額は△266,747千円、事業活動収入に対する割合は△8.47%となりました。

【表 1】 資金収支決算対比表

(単位:千円、%)

科目		2023年度	2024年度	増減B－A	
		A	B	金額	増減率
資金収入	学生生徒等納付金収入	2,671,629	2,499,298	△172,331	△ 6.9
	補助金収入	389,422	417,930	28,508	6.8
	その他の収入	153,363	213,356	59,993	28.1
	単年度収入合計	3,214,415	3,130,585	△83,830	△ 2.7
資金支出	人件費支出	1,869,571	1,927,237	57,666	3.0
	教育研究経費支出	930,759	910,885	△19,875	△ 2.2
	管理経費支出	115,962	139,690	23,728	17.0
	その他の支出	305,576	285,764	△19,811	△ 6.9
単年度支出合計		3,221,869	3,263,577	41,708	1.3
支払資金増減額		△7,454	△132,992	△125,538	0.9
前年度繰越支払資金		1,613,847	1,606,393	△7,454	△ 0.5
次年度繰越支払資金		1,606,393	1,473,401	△132,992	△ 9.0

【表 2】 事業活動収支決算対比表

(単位:千円、%)

経常収支	教育活動	科目	2023年度	2024年度	増減B－A	
			A	B	金額	増減率
		収入合計	3,161,132	3,082,638	△78,494	△ 2.5
		退職給与引当金繰入額	28,470	65,878	37,407	56.8
		その他人件費	1,846,258	1,867,736	21,478	1.1
		(教)減価償却額	297,815	292,514	△5,301	△ 1.8
		(管)減価償却額	40,602	40,365	△237	△ 0.6
		その他	1,147,889	1,146,444	△1,445	△ 0.1
		支出合計	3,361,034	3,412,937	51,903	1.5
		収支差額	△199,902	△330,299	△130,397	39.5
教育活動外		科目	2023年度	2024年度	増減B－A	
		収入合計	290	1,387	1,097	79.1
		支出合計	3,696	3,413	△283	△ 8.3
		収支差額	△3,406	△2,026	1,380	△ 68.1
		収支差額	△203,308	△332,325	△129,017	38.8
特別収支		科目	2023年度	2024年度	増減B－A	
		現物寄付	1,134	51,131	49,997	97.8
		その他	15,153	15,286	133	0.9
		収入合計	16,287	66,417	50,130	75.5
		支出合計	1,858	839	△1,019	△ 121.5
収支差額	14,429	65,578	51,149	78.0		
基本金組入前当年度収支差額		△188,879	△266,747	△77,868	29.2	
(事業活動収入に対する割合 %)		△ 5.94%	△ 8.47%			
基本金組入額合計		△107,196	△127,577	△20,380	16.0	
当年度収支差額		△296,076	△394,324	△98,249	24.9	
前年度繰越収支差額		△2,686,048	△2,982,124	△296,076	9.9	
基本金取崩額		0	0	0	0	
翌年度繰越収支差額		△2,982,124	△3,376,448	△394,324	11.7	
事業活動収入計			3,177,709	3,150,441	△27,267	△ 0.9
事業活動支出計			3,366,588	3,417,189	50,601	1.5

【表 3】 学生生徒数・学生生徒等納付金収入の推移

(単位:人、千円)

区 分						
	2023年度	2024年度	増減	2023年度	2024年度	増減
	A	B	B－A	A	B	B－A
大学	616	561	△ 55	1,347,418	1,222,947	△124,471
大学院(東京)	128	117	△ 11	194,887	173,245	△21,642
大学科目等履修生	141	145	4	123,778	119,029	△4,749
高校	159	164	5	213,754	189,710	△24,044
音楽教室	2,100	2,015	△ 85	743,796	743,663	△134
仙川キャンパス計	3,144	3,002	△ 142	2,623,633	2,448,593	△175,039
大学院	10	12	2	9,900	11,600	1,700
アカデミー	60	59	△ 1	38,097	39,105	1,008
富山キャンパス計	70	71	1	47,997	50,705	2,708
合 計	3,214	3,073	△ 141	2,671,629	2,499,298	△172,331

(注) 学生生徒数は各年度5月1日現在の人数(但し、音楽教室は3月31日現在)

【表 4】 補助金収入の推移

(単位:千円)

区 分	2023年度	2024年度	増減
	A	B	B－A
大学(国庫補助金)一般補助	64,581	54,811	△9,770
特別補助Ⅰ. 成長力強化に貢献する質の高い教育	0	0	0
Ⅱ. 社会人の組織的な受入れ	0	0	0
Ⅲ. 大学等の国際交流の基盤整備	0	0	0
Ⅳ. 大学院等の機能の高度化	2,072	2,449	377
(内訳)大学院における研究の充実	(2,072)	(2,449)	(377)
高等教育の修学支援新制度授業料減免	31,001	28,470	△2,531
大学(東京都)結核予防補助	47	37	△9
高校(東京都)一般補助	63,400	69,738	6,338
特別補助	7,217	7,281	64
結核予防費補助	19	18	△1
都内生就学促進補助	413	344	△68
授業料軽減助成金	5,128	33,260	28,132
就学支援金学校事務費補助	544	530	△14
大学・高校(調布市)保存樹木剪定補助	0	200	200
高校(調布市)調布市市内事業者物価高騰支援事業費補助金	0	20	20
仙川キャンパス計	174,422	197,158	22,736
大学院大学(国庫補助金)一般補助	0	5,772	5,772
(富山市)運営費補助	96,920	91,324	△5,596
施設整備費補助	15,000	15,000	0
オーケストラ・アカデミー(富山市)運営費補助	103,080	108,676	5,596
富山キャンパス計	215,000	220,772	5,772
合 計	389,422	417,930	28,508

【表 5】 財産目録総括表

(単位:千円)

科 目		科 目	
一、基本財産		三、負債額	
1. 土地 (22,946㎡)		1,944,107	
772,709		1,444,981	
2. 建物 (22,415㎡)		1. 固定負債	
5,742,859		(1) 長期借入金	
122,813		708,600	
3. 構築物		(2) 退職給与引当金	
523,944		736,381	
4. 機器備品 (9,282点)		2. 流動負債	
963,780		499,126	
6. 建設仮勘定		(1) 短期借入金	
0		66,660	
二、運用財産		(2) 未払金	
2,829,287		61,944	
1. 預金・現金		(3) 前受金	
1,473,401		337,190	
2. 特定資産		(4) 預り金	
967,605		33,331	
3. 有価証券		四、基本財産＋運用財産	
386,575		10,955,392	
4. その他		五、純資産(四－三)	
		9,011,285	
		総負債比率:	
		17.75	
		総負債(三)÷総資産(四)×100	
		%	

2024 年度決算総括表

資金収支計算書

収入の部		(単位:千円)					
科目／摘要		a.2024年度 第2次補正予算	b.2024年度 決 算	構成比	a.- b.	c.2023年度 決 算	b.- c.
収入の部	【 1】 学生生徒等納付金収入	2,519,625	2,499,298	52.76	20,327	2,671,629	△172,331
	【 2】 手数料収入	21,073	23,692	0.50	△2,619	20,471	3,221
	【 3】 寄付金収入	64,030	64,130	1.35	△100	37,759	26,371
	【 4】 補助金収入	404,079	417,930	8.82	△13,851	389,422	28,508
	【 5】 資産売却収入	0	0	0.00	0	0	0
	【 6】 付随事業・収益事業収入	△8,686	△6,640	△0.14	△2,046	△6,952	312
	【 7】 受取利息・配当金収入	575	1,387	0.03	△812	290	1,097
	【 8】 雑収入	96,737	98,328	2.08	△1,591	61,161	37,167
	【 9】 借入金等収入	0	0	0.00	0	0	0
	【10】 前受金収入	298,059	337,190	7.12	△39,131	317,879	19,312
	【11】 その他の収入	319,316	316,592	6.68	2,724	378,932	△62,340
	【12】 資金収入調整勘定(△)	△622,180	△622,509	△13.14	329	△658,833	36,324
	【13】 他部からの繰入金	11,349	1,186	0.03	10,163	2,656	△1,470
	単年度収入合計	3,103,976	3,130,585	66.09	△26,608	3,214,415	△83,830
【14】 前年度繰越支払資金		1,606,393	1,606,393	33.91	0	1,613,847	△7,454
合 計		4,710,370	4,736,978	100.00	△26,608	4,828,262	△91,284

支出の部		a.2024年度 第2次補正予算	b.2024年度 決 算	構成比	a.- b.	c.2023年度 決 算	b.- c.
支出の部	【 1】 人件費支出	1,938,762	1,927,237	40.68	11,525	1,869,571	57,666
	【 2】 教育研究経費支出	924,592	910,885	19.23	13,707	930,759	△19,875
	【 3】 管理経費支出	153,531	139,690	2.95	13,841	115,962	23,728
	【 4】 借入金等利息支出	3,413	3,413	0.07	0	3,696	△283
	【 5】 借入金等返済支出	66,660	66,660	1.41	0	66,660	0
	【 6】 施設関係支出	222	222	0.00	0	1,287	△1,065
	【 7】 設備関係支出	40,510	35,779	0.76	4,732	47,428	△11,649
	【 8】 資産運用支出	38,020	37,830	0.80	190	50,756	△12,926
	【 9】 その他の支出	126,551	123,175	2.60	3,376	120,768	2,406
	【10】 〔予備費〕	13,100	0	0.00	13,100	0	0
	【11】 資金支出調整勘定(△)	△83,128	△77,698	△1.64	△5,430	△87,376	9,678
	【12】 他部への繰出金	98,857	96,384	2.03	2,473	102,357	△5,973
	単年度支出合計	3,321,091	3,263,577	68.90	57,514	3,221,869	41,708
	単年度収支差額	△217,114	△132,992	△2.81	△84,122	△7,454	△125,538
【13】 翌年度繰越支払資金		1,389,279	1,473,401	31.10	△84,122	1,606,393	△132,992
合 計		4,710,370	4,736,978	100.00	△26,608	4,828,262	△91,284

事業活動収支計算書

(単位:千円)

科目／摘要			a.2024年度 第2次補正予算	b.2024年度 決 算	構成比	a.- b.	c.2023年度 決 算	b.- c.
教育活動収支	事業活動収入	【 1】 学生生徒等納付金	2,519,625	2,499,298	79.33	20,327	2,671,629	△172,331
		【 2】 手数料	21,073	23,692	0.75	△2,619	20,471	3,221
		【 3】 寄付金	63,850	63,940	2.03	△90	37,756	26,184
		【 4】 経常費等補助金	389,079	402,930	12.79	△13,851	374,422	28,508
		【 5】 付随事業収入	△8,686	△6,640	△0.21	△2,046	△6,952	312
		【 6】 雑収入	96,641	98,232	3.12	△1,591	61,150	37,082
		【 7】 他部からの繰入金	11,349	1,186	0.04	10,163	2,656	△1,470
	教育活動収入計		3,092,931	3,082,638	97.85	10,292	3,161,132	△78,494
	事業活動支出	【 1】 人件費	1,944,149	1,933,614	61.38	10,535	1,874,728	58,886
		【 2】 教育研究経費	1,217,106	1,203,399	38.20	13,707	1,228,574	△25,176
		【 3】 管理経費	193,008	179,457	5.70	13,551	155,290	24,167
		【 4】 徴収不能額等	2,057	83	0.00	1,974	84	△1
		【 5】 他部への繰出金	98,857	96,384	3.06	2,473	102,357	△5,973
	教育活動支出計		3,455,177	3,412,937	108.33	42,240	3,361,034	51,903
教育活動収支差額		△362,247	△330,299	△10.48	△31,948	△199,902	△130,397	
科目／摘要			a.2024年度 第2次補正予算	b.2024年度 決 算	構成比	a.- b.	c.2023年度 決 算	b.- c.
教育活動外収支	事業活動収入	【 1】 受取利息・配当金	575	1,387	0.04	△812	290	1,097
		【 2】 その他の教育活動外収入	0	0	0.00	0	0	0
	教育活動外収入計		575	1,387	0.04	△812	290	1,097
	事業活動支出	【 1】 借入金等利息	3,413	3,413	0.11	0	3,696	△283
		【 2】 その他の教育活動外支出	0	0	0.00	0	0	0
	教育活動外支出計		3,413	3,413	0.11	0	3,696	△283
	教育活動外収支差額		△2,838	△2,026	△0.06	△812	△3,406	1,380
経常収支差額		△365,085	△332,325	△10.55	△32,759	△203,308	△129,017	
科目／摘要			a.2024年度 第2次補正予算	b.2024年度 決 算	構成比	a.- b.	c.2023年度 決 算	b.- c.
特別収支	事業活動収入	【 1】 資産売却差額	0	0	0.00	0	0	0
		【 2】 その他特別収入	65,801	66,417	2.11	△615	16,287	50,130
		特別収入計	65,801	66,417	2.11	△615	16,287	50,130
	事業活動支出	【 1】 資産処分差額	892	241	0.01	651	584	△343
		【 2】 その他の特別支出	887	598	0.02	290	1,274	△676
		特別支出計	1,779	839	0.03	940	1,858	△1,019
	特別収支差額		64,022	65,578	2.08	△1,555	14,429	51,149
〔予備費〕		13,100	0	0.00	13,100	0	0	
基本金組入前当年度収支差額①－②)			△314,162	△266,747	△8.47	△47,415	△188,879	△77,868
基本金組入額合計			△130,785	△127,577	△4.05	△3,208	△107,196	△20,380
当年度収支差額			△444,947	△394,324	△12.52	△50,623	△296,076	△98,249
前年度繰越収支差額			△2,982,124	△2,982,124		0	△2,686,048	△296,076
基本金取崩額			0	0		0	0	0
翌年度繰越収支差額			△3,427,071	△3,376,448		△50,623	△2,982,124	△394,324

事業活動収入計 ①	3,159,307	3,150,441	100.00	8,866	3,177,709	△27,267
事業活動支出計 ②	3,473,469	3,417,189	108.47	56,280	3,366,588	50,601

貸借対照表

2025 年 3 月 31 日

(単位:円)

資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	9,161,719,232	9,371,228,292	△209,509,060
有形固定資産	8,126,104,166	8,376,458,834	△250,354,668
土地	772,709,406	772,709,406	0
建物	5,742,858,619	6,009,461,338	△266,602,719
構築物	122,812,780	134,217,893	△11,405,113
教育研究用機器備品	504,044,650	487,495,312	16,549,338
管理用機器備品	19,898,906	21,838,135	△1,939,229
図書	963,779,805	950,736,750	13,043,055
車両	0	0	0
建設仮勘定	0	0	0
特定資産	967,604,940	931,124,937	36,480,003
第2号基本金引当特定資産	0	0	0
第3号基本金引当特定資産	0	0	0
施設設備引当特定資産	325,551,578	325,183,892	367,686
退職給与引当特定資産	30,625,089	30,608,382	16,707
記念事業引当特定資産	0	0	0
教育研究引当特定資産	0	0	0
江戸奨学引当特定資産	0	0	0
本部役職員退職金引当特定資産	0	0	0
特別奨学基金引当特定資産	23,055,700	18,944,398	4,111,302
教育特別活動引当特定資産	0	0	0
鍋島元子奨学基金引当特定資産	8,386,017	8,381,443	4,574
芸術教育整備拡充資金及び奨学基金引当特定資産	512,461,069	512,981,062	△519,993
チェロアンサンブル・サイトウ奨学基金引当特定資産	2,537,987	2,936,514	△398,527
桐朋学園音楽部門学生会館運営基金引当特定資産	9,777,438	9,592,368	185,070
桐朋学園音楽部門70周年記念基金引当特定資産	20,547,063	20,535,856	11,207
若手音楽家支援プロジェクト引当特定資産	958,155	761,010	197,145
佐々木成子賞奨学基金引当特定資産	1,050,666	1,200,012	△149,346
齋藤秀雄記念教育基金引当特定資産	32,654,178	0	32,654,178
その他の固定資産	68,010,126	63,644,521	4,365,605
借地権	0	0	0
電話加入権	3,625,844	3,625,844	0
施設利用権	0	0	0
ソフトウェア	57,689,666	53,324,061	4,365,605
有価証券	1,706,616	1,706,616	0
収益事業元入金	0	0	0
長期貸付金	0	0	0
敷金	4,988,000	4,988,000	0
長期性預金	0	0	0
流動資産	1,793,672,396	1,904,331,788	△110,659,392
現金預金	1,473,401,339	1,606,393,133	△132,991,794
未収入金	304,546,880	279,356,917	25,189,963
短期貸付金	0	0	0
有価証券	0	0	0
仮払金	1,222,751	2,554,132	△1,331,381
立替金	0	0	0
前払金	14,501,426	16,027,606	△1,526,180
販売用品	0	0	0
	10,955,391,628	11,275,560,080	△320,168,452

負債の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定負債	1,444,980,836	1,505,264,271	△60,283,435
長期借入金	708,600,000	775,260,000	△66,660,000
学校債	0	0	0
長期未払金	0	0	0
退職給与引当金	736,380,836	730,004,271	6,376,565
流動負債	499,125,832	492,263,359	6,862,473
短期借入金	66,660,000	66,660,000	0
1年以内償還予定学校債	0	0	0
未払金	61,943,987	70,160,909	△8,216,922
前受金	337,190,400	317,878,900	19,311,500
預り金	33,331,445	37,563,550	△4,232,105
	1,944,106,668	1,997,527,630	△53,420,962
純資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
基本金	12,387,733,030	12,260,156,427	127,576,603
第1号基本金	12,136,733,030	12,009,156,427	127,576,603
第2号基本金	0	0	0
第3号基本金	0	0	0
第4号基本金	251,000,000	251,000,000	0
繰越収支差額	△3,376,448,070	△2,982,123,977	△394,324,093
翌年度繰越収支差額	△3,376,448,070	△2,982,123,977	△394,324,093
純資産の部合計	9,011,284,960	9,278,032,450	△266,747,490
科 目	本年度末	前年度末	増 減
負債および純資産の部合計	10,955,391,628	11,275,560,080	△320,168,452

注 記

1. 重要な会計方針

- (1) 引当金の計上基準
- 徴収不能引当金の計上基準
未収入金の徴収不能に備えるため、個別に見積もった徴収不能見込額を計上している。
- 退職給与引当金の計上基準
大学等の教職員については期末要支給額 706,215,000円の100%を基にして、
私立大学退職金財団に対する掛金の累積額と交付額の累積額との繰入れ調整額を加減した金額を計上している。
- (2) その他の重要な会計方針
- 有価証券の評価基準及び評価方法
有価証券の評価基準及び評価方法は移動平均法に基づく原価法である。
- 食堂その他教育研究活動に付随する活動に係る収支の表示方法
補助活動に係る収支は純額で表示している。
- 減価償却について
- ① 減価償却資産の計上基準について

土地、建設仮勘定、図書を除く有形固定資産(耐用年数1年以上で、1個あるいは1組の価額が3万円以上のもの)を減価償却資産として計上している。ただし、学生生徒等が使用する机、椅子等は少額重要資産として、金額の多寡に関わらず教育研究用機器備品に計上している。

② 減価償却の方法等について

取得価額30万円以上の償却資産(音楽部門の取得価額30万円未満の楽器を含む)については、残存価額を取得価額の10%とした(車両及び機器備品は零とした)個別償却による定額法で減価償却を行っている。
取得価額30万円未満の機器備品については、残存価額を零とした総合償却による定額法で減価償却計算を行っている。
- 耐用年数は、「学校法人桐朋学園固定資産減価償却に関する内規」の別表によっており、主な耐用年数は以下の通りである。
- | | | |
|------|--------------|-----|
| 建物 | 鉄筋、鉄骨コンクリート造 | 50年 |
| 構築物 | コンクリート造 | 15年 |
| 機器備品 | | 10年 |
2. 重要な会計方針の変更等
- なし
3. 減価償却額の累計額の合計額
- 4,709,667,644 円
4. 徴収不能引当金の合計額
- 0 円
5. 担保に供されている資産の種類及び額
- 担保に供されている資産の種類及び額は、次の通りである。
- | | |
|------|--------------|
| 土 地 | 96,785,979 円 |
| 建 物 | 0 円 |
| 定期預金 | 0 円 |
6. 翌会計年度以後の会計年度において基本金への組入れを行うこととなる金額
- 775,434,197円
7. 当該会計年度の末日において第4号基本金に相当する資金を有していない場合のその旨と対策
- 第4号基本金に相当する資金を有しており、該当しない。

8. その他財政及び経営の状況を正確に判断するために必要な事項

- (1) 有価証券の時価情報
- ① 総括表
- (単位:円)
- | 種 類 | 当年度(2025年3月31日) | | |
|--------------------|-----------------|-----------|-----------|
| | 貸借対照表計上額 | 時 価 | 差 額 |
| 時価が貸借対照表計上額を超えるもの | 1,706,616 | 6,946,291 | 5,239,675 |
| (うち満期保有目的の債券) | 0 | 0 | 0 |
| 時価が貸借対照表計上額を超えないもの | 0 | 0 | 0 |
| (うち満期保有目的の債券) | 0 | 0 | 0 |
| 合 計 | 1,706,616 | 6,946,291 | 5,239,675 |
| (うち満期保有目的の債券) | 0 | 0 | 0 |
| 時価のない有価証券 | 0 | | |
| 有価証券合計 | 1,706,616 | | |
- ② 明細表
- (単位:円)
- | 種 類 | 当年度(2025年3月31日) | | |
|-----------|-----------------|-----------|-----------|
| | 貸借対照表計上額 | 時 価 | 差 額 |
| 債券 | 0 | 0 | 0 |
| 株式 | 1,706,616 | 6,946,291 | 5,239,675 |
| 投資信託 | 0 | 0 | 0 |
| 貸付信託 | 0 | 0 | 0 |
| その他 | 0 | 0 | 0 |
| 合 計 | 1,706,616 | 6,946,291 | 5,239,675 |
| 時価のない有価証券 | 0 | | |
| 有価証券合計 | 1,706,616 | | |
- (2) 所有権移転外ファイナンス・リース取引
- 通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っている所有権移転外ファイナンス・リースは次の通りである。
- | | | |
|------------|-------------|---------------|
| (リース資産の種類) | (リース料総額) | (未経過リース料期末残高) |
| 教育研究用機器備品 | 13,021,020円 | 6,852,831円 |
| 管理用機器備品 | 2,668,980円 | 1,311,959円 |
| 合計 | 15,690,000円 | 8,164,790円 |
- (3) 純額で表示した補助活動に係る収支
- (単位:円)
- | | 収入 | 支出 | 収支差額 |
|----------|------------|------------|--------------|
| 夏期講習 | 11,561,000 | 7,667,329 | 3,893,671 |
| 冬期講習 | 6,203,000 | 3,360,248 | 2,842,752 |
| 芸術教育普及事業 | 141,094 | 266,976 | △ 125,882 |
| オープンカレッジ | 3,242,500 | 1,437,390 | 1,805,110 |
| 出版 | P | 0 | 2,249,418 |
| 呉羽寮 | 18,452,243 | 35,757,517 | △ 17,305,274 |
| 合計 | 41,849,255 | 48,489,460 | △ 6,640,205 |
- (4) 関連当事者との取引
- 該当なし
- (5) 後発事象
- 該当事項なし



桐朋学園音楽部門

TOHO GAKUEN SCHOOL OF MUSIC

桐朋学園大学音楽学部

桐朋学園大学大学院音楽研究科

桐朋女子高等学校音楽科（男女共学）

桐朋学園大学音楽学部附属 子供のための音楽教室

桐朋学園大学院大学研究科（修士課程）

桐朋オーケストラアカデミー

■仙川キャンパス

〒182-8510 東京都調布市若葉町 1-41-1
TEL:03-3307-4101

■調布キャンパス

〒182-0021 東京都調布市調布ヶ丘 1-10-1
TEL:042-444-7055

■富山キャンパス

〒930-0138 富山県富山市呉羽町 1884-17
TEL:076-434-6800

ホームページ <https://www.tohomusic.ac.jp/>

